

常任委員会の審査から

常任委員会で審査した議案等について、主なものの概要を掲載します。

民生文教常任委員会

陳情第1号 子供の健全な成長、発達のための教育活動を求める陳情

意見 関係課等の説明を聞く限り、保育所、あるいは学校等の現場では、もうすでに陳情の内容に関しては、実施されていると感じた。

⇒ 全員一致で不採択

産業建設常任委員会

議案第19号 市道路線の変更について

問 変更後の市道239号線荒町1号幹線が、穴川の手前で曲がっているのはなぜか。

答 移管される予定の県道について、栃木県真岡土木事務所が整備を進めており、老朽化した御前橋を廃止するため、穴川の西に新たな路線を整備し、県道西小埜真岡線に接続するものである。

⇒ 全員一致で可決

総務常任委員会

議案第5号 真岡市部設置条例の一部改正について

問 暮らし安全課に空き家対策を包括する係を新設するとのことであるが、何人配置し、建築士の様な専門的な知識を有する職員も配置するのか。

答 新設の係として、係長以下4名体制とし、建築関係の知識を有する職員も配置する予定である。

⇒ 全員一致で可決

議案第6号 真岡市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

問 職員の休憩時間の柔軟化を図るとのことであるが、具体的にはどのようなことなのか。

答 現在の休憩時間は、一斉付与を原則として、12時から13時までとしており、職場の状況により変更することが可能となっている。今回の改正では、本人の都合でも、市が認めた場合、職員の健康状態に配慮し、休憩時間を分割して取得するなどの対応が可能となるものである。

⇒ 全員一致で可決

予算審査特別委員会の審査から

予算審査特別委員会
鶴見 和弘 委員長



業務内容は、18歳未満の子どもとその家庭及び妊産婦を対象に、児童虐待をはじめ、不登校や育児不安などの様々な相談に応じ、関係機関と連携し、継続的な支援を実施するものである。

土木費

▼8款4項2目 土地区画整理費

問 中心市街地リノベーション事業費として、2,521万8千円計上されているが、金額の内訳を伺う。

答 一筆地測量業務委託670万5千円、事業計画案作成業務委託539万6千円、補償調査業務委託1,268万円、不動産鑑定手数料35万4千円、その他事務費8万3千円である。

総務費

▼2款1項13目 諸費

問 空き家対策総合支援事業補助金350万円とあるが、除却4件、活用3件と分けている。その内容について伺う。

答 除却は、適正な管理がされず、そのまま放置すれば危険となる空き家である特定空家等に認定された建物等の除却に要した費用を補助するものである。

活用は、移住定住を目的として、空き家バンクに登録された建物を購入又は賃貸し、リフォームをした際に要した費用を補助するものである。

補助額については、除却、活用とも対象費用の2分の1以内、最大50万円である。

消防費

▼9款1項3目 消防施設費

問 消防ポンプ車購入費2,166万2千円が計上されているが、どこの部なのか伺う。

答 大内地区飯貝に消防会館がある第3分団第1部の車両を更新するものである。

教育費

▼10款5項3目 学校給食施設費

問 給食食材残渣処理業務等委託費として、266万6千円計上されているが、給食食材残渣物の量と、その処理方法について伺う。

答 給食食材残渣物については、例年約6万5千キログラム出ており、令和5年度についても同程度を見込んでいる。

次に、処理の方法であるが、調理時に出る野菜くず等については、そのまま可燃ごみとし、給食の戻り分については、厨芥処理機により水分を取り除いたのち、可燃ごみとしている。

これらの可燃ごみを、収集運搬業者が毎日2回収集し、焼却処分される。

民生費

▼3款2項1目 児童福祉総務費

問 家庭相談員兼子ども家庭支援員・虐待対応専門員設置費1,316万7千円が、前年度1,612万5千円から減額となった理由と業務内容を伺う。

答 減額理由は、今年度から社会福祉士の資格をもった専門職員を正規職員として配置し、相談体制の強化が図られたことにより、令和4年度の会計年度任用職員の人件費5名分を4名分にしたためである。